

発議第 14 号

平成 24 年 12 月 21 日

幕別町議会議長 古川 稔 様

提出者 幕別町議会議員 芳滝 仁

賛成者 幕別町議会議員 藤原 孟

地域医療と国立病院の充実を求める意見書

上記の議案を、別紙のとおり会議規則第 14 条の規定により提出します。

地域医療と国立病院の充実を求める意見書

日本の医療は、医師、看護師をはじめとする医療従事者の懸命な努力で支えられてきた。

いま医療現場は、長時間・過密労働に加え、医療技術の進歩や医療安全への期待の高まりなどで、看護職員などの労働環境は厳しさを増し、離職者も多く、深刻な人手不足になっている。

看護師など夜勤交替制労働者の労働条件を抜本的に改善し、人手を大幅に増やして、安全・安心の医療・介護を実現することが大切になっている。医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、国民が安心して暮らしていける制度にすることが求められている。

また、公的病院の縮小・閉鎖によって、救急患者の受け入れ先がない等、地域医療が崩壊しかねない事態が全国で生じている。

国立病院は、がん・循環器などの高度医療や研究とともに、重症心身障害、筋ジストロフィー、結核・感染症、精神医療、災害医療、へき地医療など、民間では困難な分野を担い、地域医療においても重要な役割を果たしている。

しかし、国立病院に対しては「非効率」病床の削減、「事業規模の縮小、他の公的病院も含めた再編成の検討」など更なる「経営合理化」を進めようとしているが、住民は、いつでも・どこでも・だれでも、安心して医療を受けることができるよう、地域医療と国立病院の充実を求めている。

以上の趣旨から、医師、看護師等の大幅な増員を実現し、地域医療、国立医療、公的医療機関の拡充を図るための対策を講じるよう、下記事項について強く要望する。

記

- 1 国立病院を縮小・廃止することなく、充実強化を図ること。
- 2 労働環境改善のため、医師、看護師を増やすこと。
- 3 国立帯広病院を災害時医療の拠点病院として役割が發揮できる

よう充実強化すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により提出する。

平成 24 年 12 月 21 日

北海道中川郡幕別町議会

【提出先】

内閣総理大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣